



2007年8月27日

株式会社あきんどスシロー、株式会社極洋との戦略的業務・資本提携について

本日、当社が運用に係るアドバイザーを務める投資ファンド(ユニゾン・キャピタル・パートナーズ II, L.P.及びユニゾン・キャピタル・パートナーズ II(F), L.P.)が出資する Pacific Fisheries, L.P. 及び Atlantic Fisheries, L.P.(以下「ユニゾン」と総称)は、株式会社あきんどスシロー(以下「あきんどスシロー」、東証二部 銘柄コード 2781)並びに株式会社極洋(以下「極洋」、東証一部 銘柄コード 1301)と戦略的業務・資本提携(以下「本提携」)について最終合意いたしました。

あきんどスシローは、近畿圏を中心に、関東圏、中部圏、中国圏において一皿105円の均一料金回転すし店を直営で205店舗展開している、売上高業界第2位の回転すしチェーンです。高い仕入れ力と店舗オペレーションの効率化により、質の高い寿司を安価に提供するビジネスモデルを有しており、今後は「回転すしで売上高日本一」・「売上高1,000億円」を中核とする中期経営計画の達成を目指し、さらに事業を拡大する予定です。

ユニゾンは、あきんどスシローの成長性を高く評価しており、成長資金を提供するとともに、成長戦略の実行支援を行う予定です。具体的には、ユニゾンによる経営管理機能・店舗開発機能の強化支援等を予定しています。また本提携のパートナーである極洋は、国内有数の水産商社・食品加工会社であり、あきんどスシローの創業時からの親密な取引先です。本提携により、あきんどスシローと極洋は海外展開を含めた総合的協力体制確立の検討及び食材の共同開発の検討を共同で行う予定です。

本提携に基づき、ユニゾンは、総額48億3,100万円を出資し、あきんどスシローの普通株式1,172,000株及び新株予約権2,510個を第三者割当により取得することで、あきんどスシロー発行済株式の約18%(完全希薄化後で約21%)を保有する株主となる予定です。ユニゾンが取得したあきんどスシロー普通株式のうち数%は、今後極洋へ譲渡する予定ですが、具体的な時期及び株数については今後極洋との間で協議の上、決定する予定です。

ユニゾンからは社外取締役2名及び社外監査役1名を派遣し、極洋から派遣される社外取締役1名とともに、現経営陣をサポートし、あきんどスシローの事業基盤のさらなる成長、企業価値の最大化を目指します。

以上

本件に関するお問い合わせ先

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-5

ユニゾン・キャピタル株式会社 五木田

電話:03-3511-3900

ユニゾン・キャピタルについて

ユニゾン・キャピタル株式会社(代表取締役:江原伸好)は、1998年に設立された、日本におけるプライベート・エクイティ投資のパイオニアです。完全な独立系企業として少数の日本人プロフェッショナルによる運営体制を特色としております。当社が運用に係るアドバイザーを行うファンドは、これまでに11件の投資を実行、うち7件について回収を実現した実績を有します。本件のように消費者に近い事業を営む企業に対する投資実績としては、クラシエホールディングス株式会社(旧カネボウ)、株式会社東ハト、株式会社ドラッグイレブン、株式会社メディアリーヴス(旧アスキー)等へ投資を行い、企業価値最大化のための支援を提供しております。

当社グループの現在運用するファンド、「ユニゾン・キャピタル・パートナーズ II, L.P.」、「ユニゾン・キャピタル・パートナーズ II(F), L.P.」(ケイマン籍)は国内外の有力機関投資家からの出資により2004年12月に総コミットメント金額750億円で設定されました。2007年1月に設定された600億円規模の追加共同投資ファンド「UCスタンド・バイ・ファシリティ」と合わせ、総額1,350億円規模の資金を有し、日本におけるMBO、大企業の分社化、事業承継など、企業の成長を支援する投資活動を積極的に行っています。